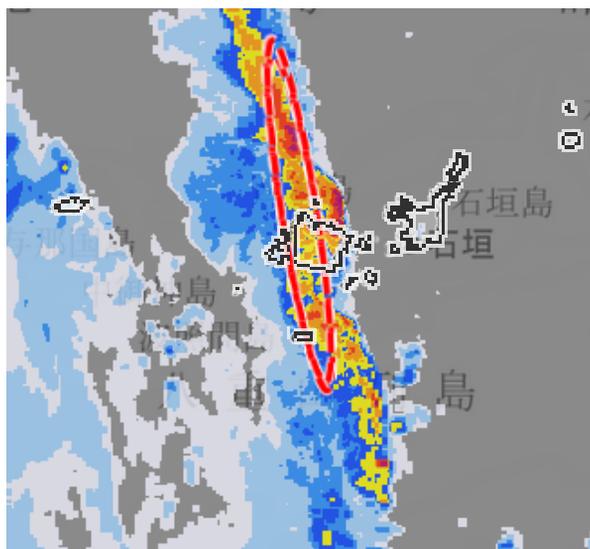


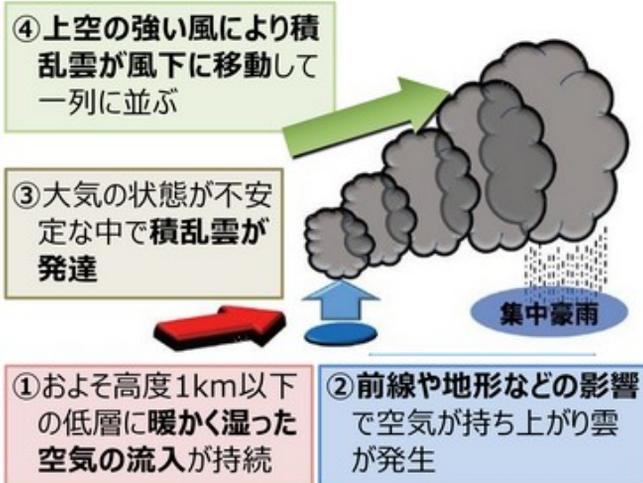
半日前からの線状降水帯の呼びかけについて

線状降水帯は、次々と発生した積乱雲による線状の降水域に伴う大雨の事を言います。気象庁では、線状降水帯が予想される場合、半日程度前から「線状降水帯」という言葉を使って気象情報でその旨の呼びかけを行います。

過去に線状降水帯の呼びかけを行った際の5割近くは、3時間降水量が100mm以上の大雨となっています。線状降水帯の呼びかけがある場合には、大雨災害への心構えをしておきましょう。



線状降水帯の模式図



R6年7月25日に西表島で発生した線状降水帯
(雨雲の動きのページ、楕円は線状降水帯)

令和6年台風第3号に関する八重山地方気象情報 第14号
(見出し)

大型で非常に強い台風第3号は、・・・。

また24日夜にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。



雨雲の動き
(気象庁HP)



気象情報
(気象庁HP)

気象情報での線状降水帯の呼びかけ例

防災気象情報は、テレビ・ラジオ・またはホームページから

石垣島地方気象台ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/>

※ ホームページは、スマートフォン対応済みです。

お問い合わせ先：石垣島地方気象台 電話番号：0980-82-2170



気象庁マスコット
はれるん